

このサイトはAvast Business製品専用です。AVG Business製品に関する記事については、[AVG Business ヘルプを参照してください](#)。適切な場所においても探している情報が見つからない場合は、[Avast Businessサポートに連絡してさらにサポートを受けてください](#)。

現在の場所: [オンプレミス コンソール](#)>[コンソール管理 - Windows](#)>[コンソールのセットアップ](#)>[オンプレミス コンソールのインストール](#)

# Windows にオンプレミス コンソールをインストールする

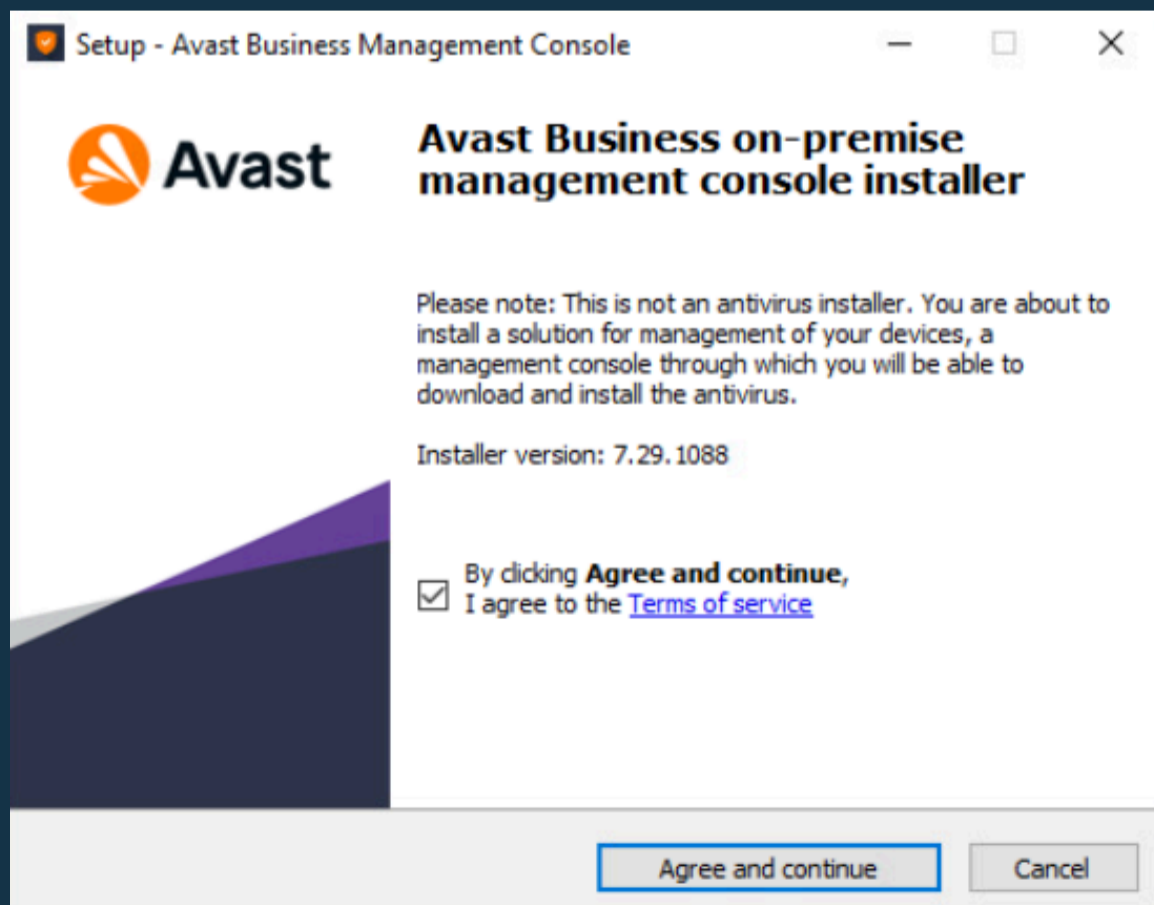
この記事は以下に適用されます:

- Avast Business オンプレミス コンソール

Avast Business On-Premise Consoleをインストールする前に、システムが以下の要件を満たしていることを確認してください。[システム要件](#)と[ファイアウォール要件](#)オフラインまたは分離されたネットワークの保護を設定する必要がある場合は、[「オフラインオンプレミスコンソールの構成」](#)も参照してください。

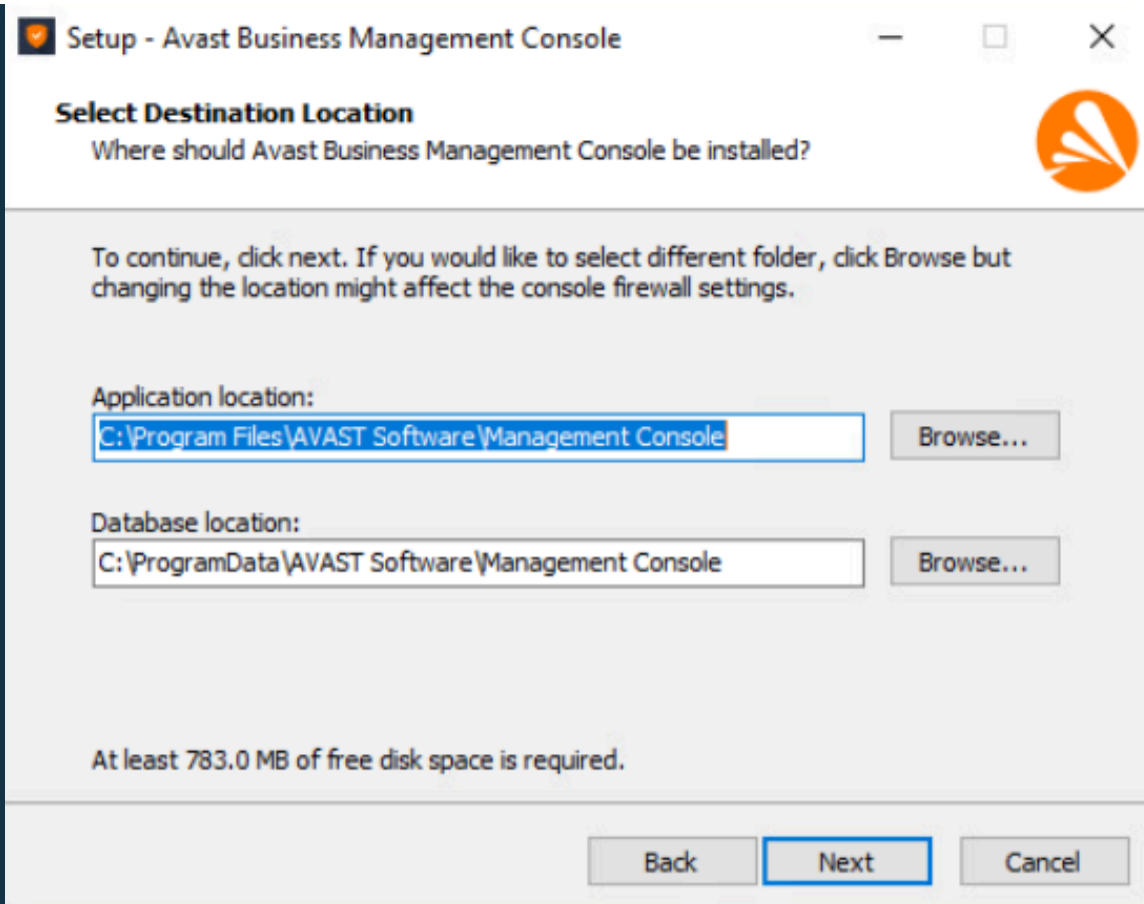
オンプレミスコンソールインストーラーは[こちら](#)からダウンロードできます。<https://www.avast.com/installation-files> (ビジネスタブになっていることを確認してください)インストーラーをダウンロードしたら、次の手順に従います。

1. インストーラーファイルをエンドデバイスがアクセスできる場所にコピーします
2. インストーラーファイルをダブルクリックして実行します
3. 求められた場合は、アプリケーションがデバイスに変更を加えることを許可します
4. 利用規約を読んで同意する

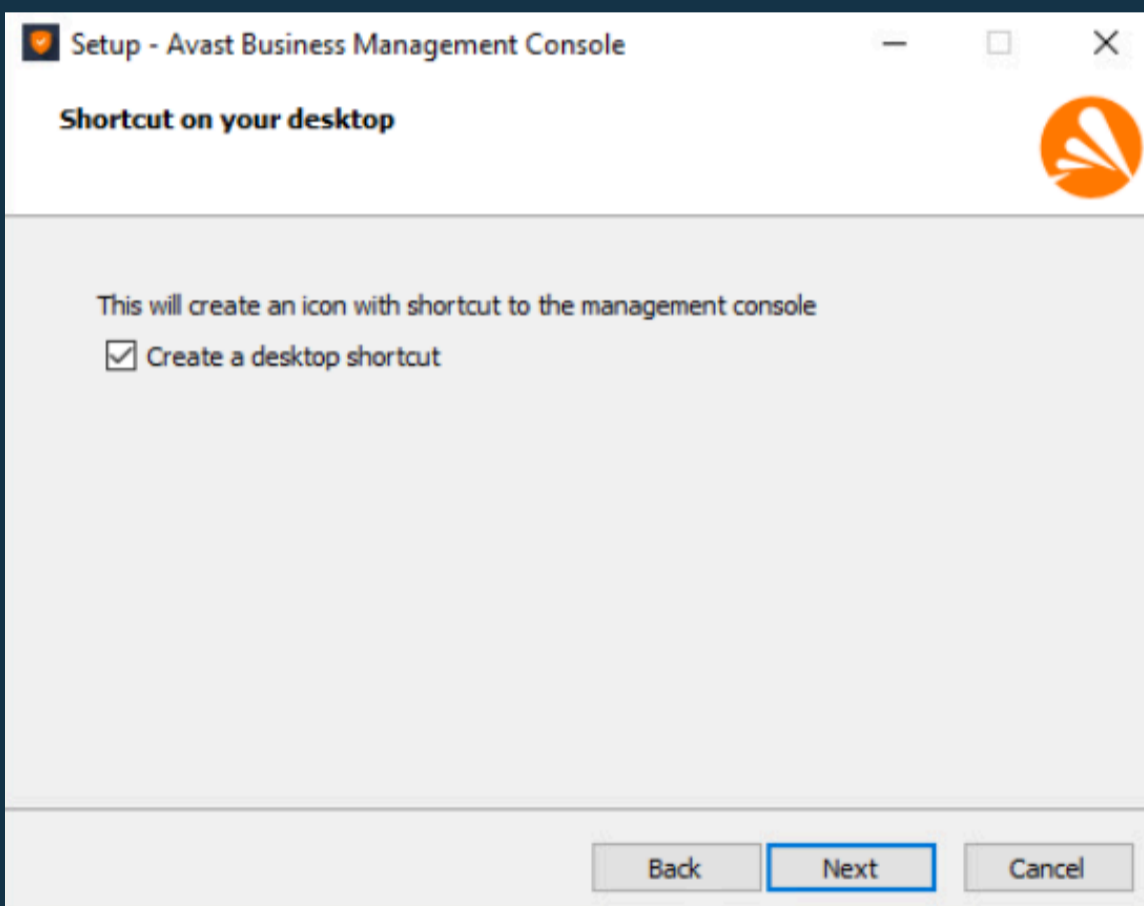


5. アプリケーションとデータベースの場所を確認し、必要に応じて編集します（デフォルトの場所のままにしておくことをお勧めします）

- セットアップを続行する前に、十分な空きディスク容量があることを確認してください。



6. デスクトップにコンソールのショートカットを作成するかどうかを選択します



7. コンソールのホスト名と、コンソールとデータベースへのアクセスおよび通信用のデフォルトポートを確認し、必要に応じて編集します。

- 。ウィザードでは、完全修飾ドメイン名 (FQDN) を使用するよう推奨されています。これにより、DNS 解決に関する潜在的な問題を抑えることができます。別の方法として、デバイスの IP アドレスを使用することもできます (DNS に関する問題がさらに解消されます)。IP アドレスを使用する場合は、デバイスに静的 IP アドレスを割り当てる必要があります。

**Hostname & port**  
Specify hostname and ports for the management console for accessing the console UI and endpoints to access your server.

If unsure, just keep following default (pre-filled) values.

Host name:

⚠ We recommend to use the fully qualified domain name!

Advanced settings - Edit ports

Port for accessing console:

Port for installed database:

Port used for communication with endpoint #1:  #2:

If you have a Firewall installed on this device, make sure you keep these ports open for communication with console. (This is not needed for Windows Firewall.)

8. 必要に応じて、オンプレミスコンソールサーバーのプロキシ設定を定義します。

- HTTP または SOCKS プロキシ タイプ、および HTTP の基本認証を構成できます。
- これはインストール後に行うこともできます ([オンプレミスコンソールのプロキシ設定の構成](#))。

**Console Proxy Settings**  
To connect the Management Console with Avast servers. Can be changed in Console General Settings. These are not endpoint proxy settings.

Define proxy settings for this On-premise Console server.

Proxy type:

Address:

Port:

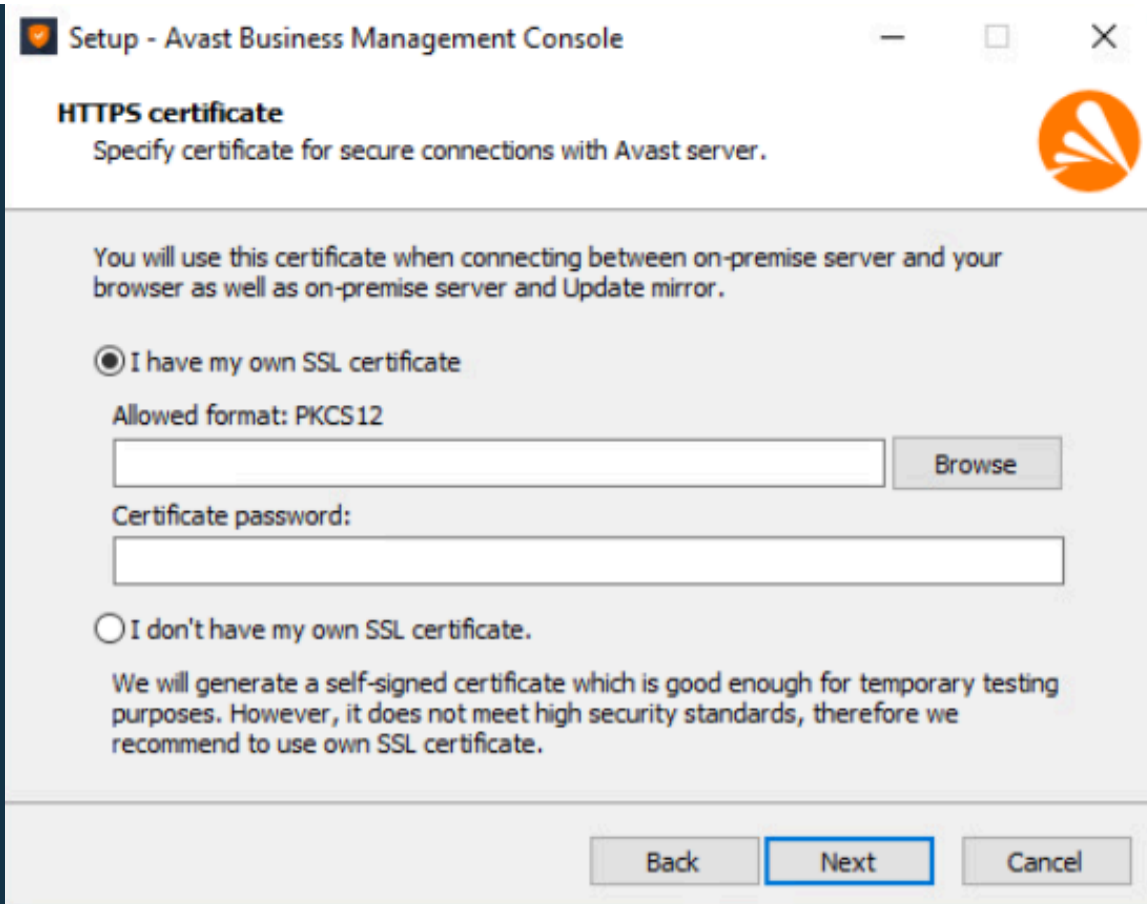
Authentication:

Username:

Password:

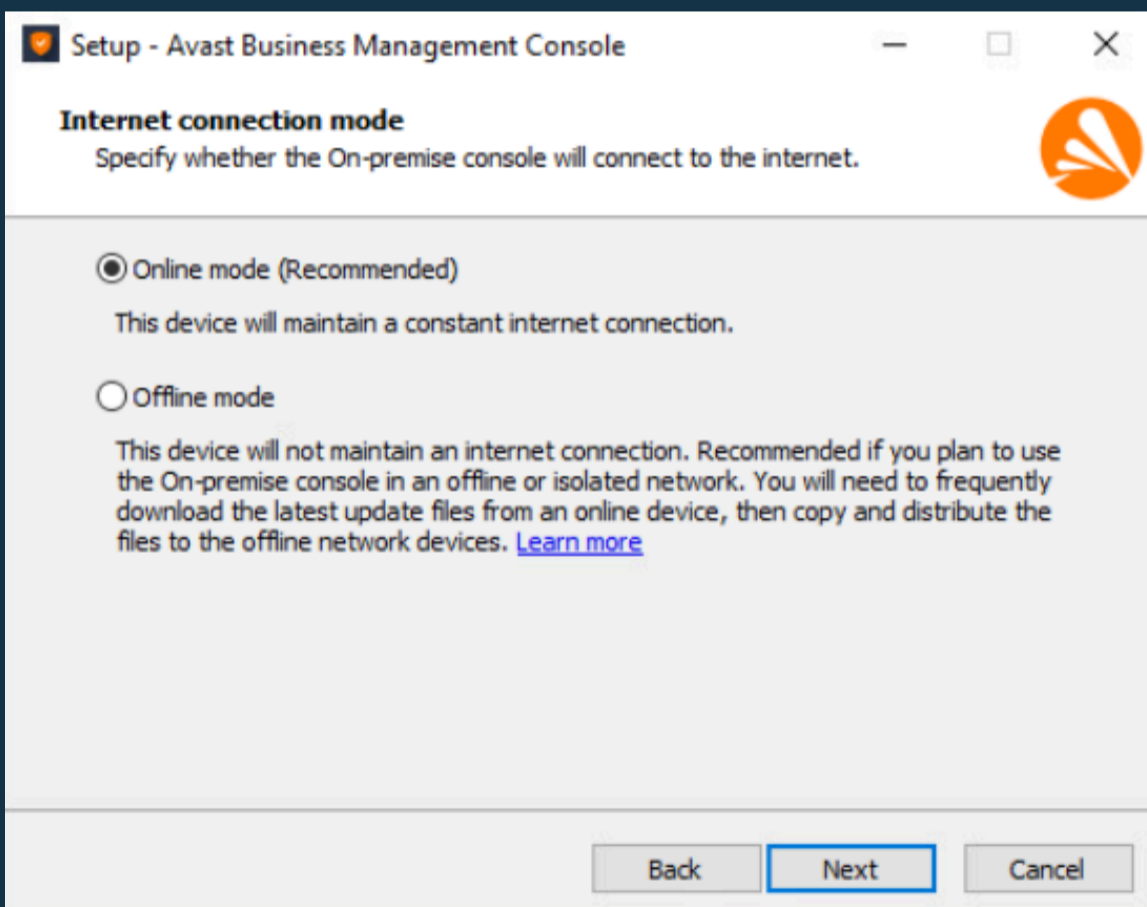
9. 独自の SSL 証明書 (推奨) と自己署名証明書 (セキュリティ標準が低い) のどちらかを選択します。

- サポートされるのは JKS (.jks) と PKCS12 (.p12) タイプのみです。サポートされていない他のタイプがある場合は、任意のオンライン ツールを使用して変換できます。
- 自己署名証明書を選択したが、後で独自の証明書に置き換える場合は、コンソールを再インストールする必要があります ([「オンプレミスコンソール証明書の変更」](#)を参照)。

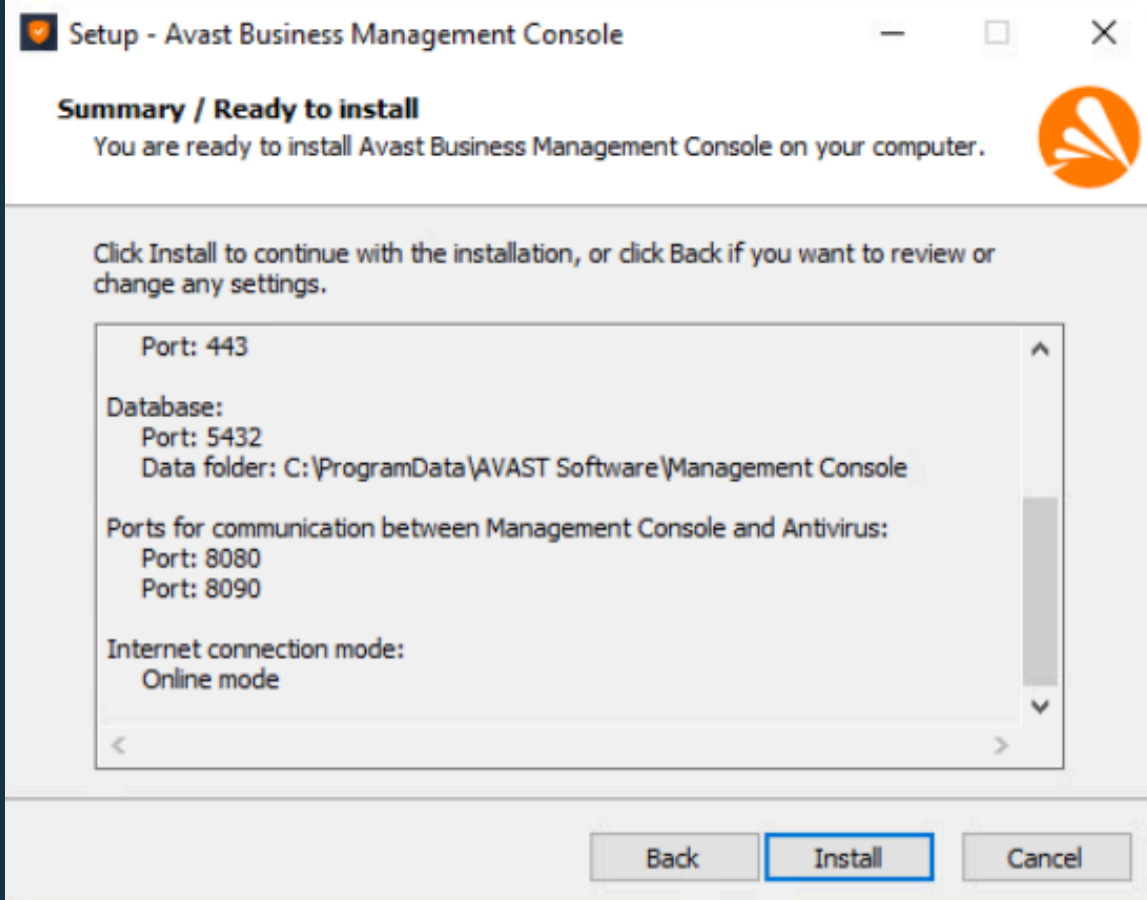


10. コンソールをオンラインモードとオフラインモードのどちらで操作するかを選択します

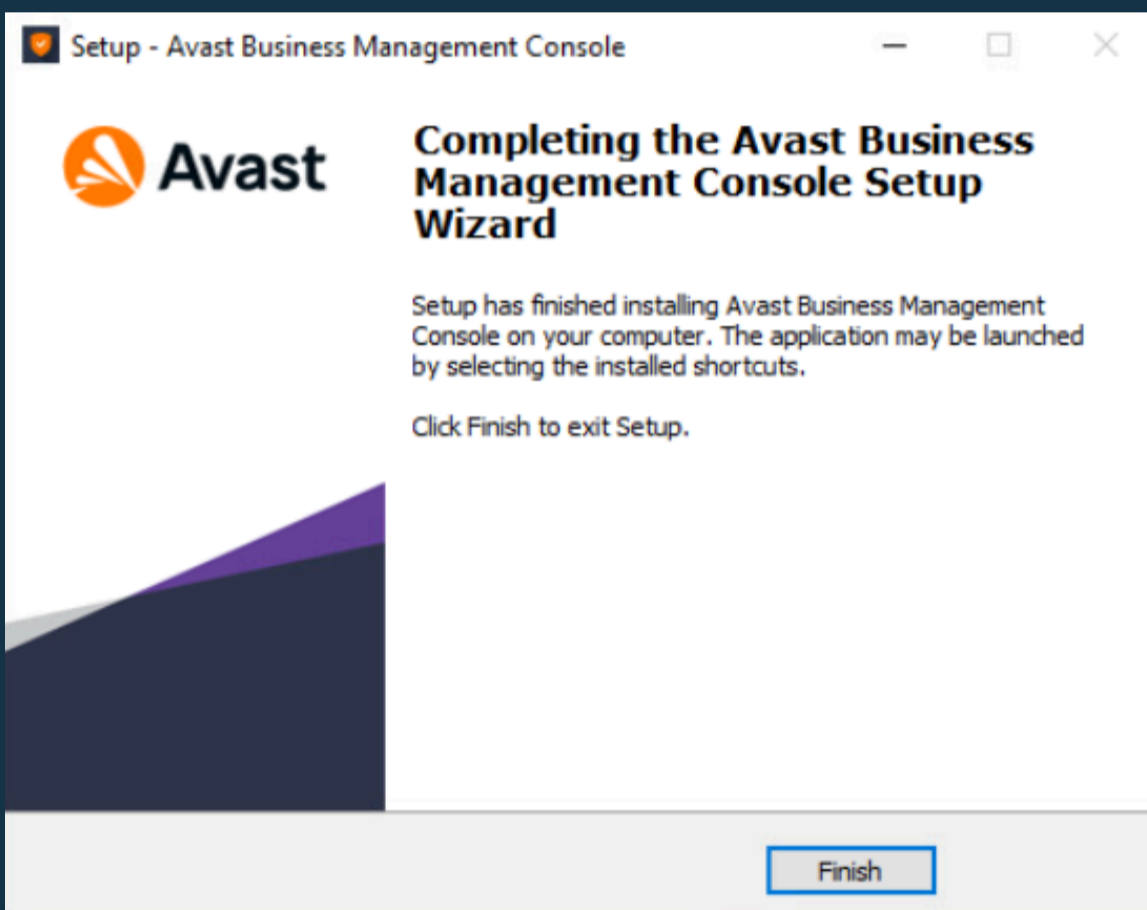
- オフラインモードの説明では、デバイスを最新の状態に保つために頻繁に手動で操作する必要があることなど、このモードを使用するタイミングの詳細が確認できます。詳細リンクをクリックすると、[オフラインオンプレミスコンソールの構成](#)記事。
- 必要に応じて、インストール後に選択したコンソールモードを変更できます ([オンプレミスコンソール証明書の変更を参照](#))。



11. インストールの詳細を確認し（必要に応じて戻ってインストールを変更できます）、インストールを開始します。



12. インストールが完了するまで待ち、「完了」をクリックしてインストーラーを閉じます。



オンプレミス コンソールを初めて実行すると、新しいアカウントと会社を登録して作成するように求められます ([オンプレミス コンソール アカウントの作成を参照](#))。次回コンソールを実行するたびに、登録した資格情報を使用してログインする必要があります。最初のログイン時に、サブスクリプションもアップロードする必要があります ([サブスクリプションのアクティブ化を参照](#))。

#### このセクションの他の記事:

[Windows でのオンプレミス コンソールの更新](#)

[オンプレミスコンソール証明書の変更](#)

#### 関連記事:

[オフラインオンプレミスコンソールの構成](#)

[macOS にオンプレミス コンソールをインストールする](#)

## [Linux にオンプレミス コンソールをインストールする](#)

現在の場所: [オンプレミス コンソール](#)>[コンソール管理](#) - *Windows* >[コンソールのセットアップ](#)>[オンプレミス コンソールのインストール](#)